

# 「レジ袋に関するアンケート」調査結果

平成19年10月31日  
札幌消費者協会環境研究会

札幌消費者協会では、長年にわたり「マイバック運動」を推進してきました。マイバックを持参することはゴミの発生を抑制し、しいては地球温暖化防止や資源の無駄遣いをなくすことにもつながります。

しかし、なかなかマイバック持参が浸透しないことから、有料化によるレジ袋の削減の動きも出てきました。当研究会では平成14年に「レジ袋に関するアンケート」を実施しました。5年たった今、改めて消費者の意識に変化があったかを調査しました。

## ◆調査概要

- 調査対象者：「環境広場さっぽろ2007」及び「2007さっぽろ消費者まつり」来場者

### 【年代・性別】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男	1	9	14	17	12	19	11	83
女	7	15	76	77	69	49	26	319
計	8	24	90	94	81	68	37	402

### 【住まい】

札幌市内	市外	無回答	合計
352	48	2	402

- 調査期間：平成19年8月3～5日、平成19年9月15日（上記イベント開催期間）
- 調査方法：面接法

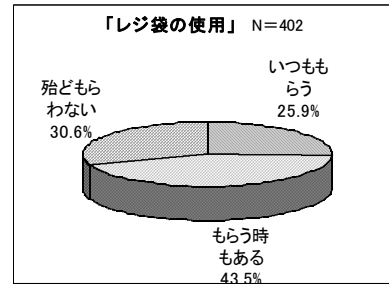
## ◆調査結果

- 1 買い物の際にレジ袋をもらいますか？（N=402）  
＝「殆どもらわない」は3割＝

前回調査と比較して「殆どもらわない」（30.6%）人の割合が高くなり、「いつももらう」（25.9%）人の割合が半減しました。また、「もらうときもある」（43.5%）人の割合が高くなり、場面によりマイバックと使い分けている傾向が見られました。

(%)

	いつももらう	もらうときもある	殆どもらわない
平成14年	54.0	34.0	12.0
平成19年	25.9	43.5	30.6

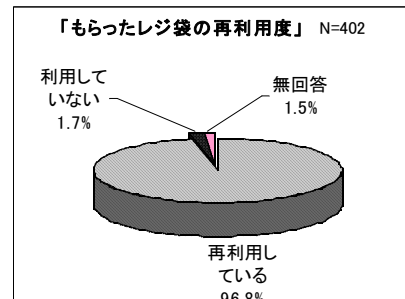


- 2 持ち帰ったレジ袋はどうしますか？（N=402）  
＝96.8%は「再利用している」＝

持ち帰ったレジ袋は再利用している人が多く、前回調査より更に割合が高くなりました。しかし、再利用後はやはりごみとして廃棄される可能性が高いことも否めません。

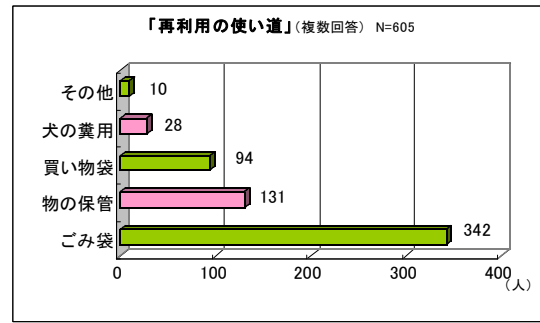
(%)

	再利用している	利用していない	無回答
平成14年	81.0	19.0	0
平成19年	96.8	1.7	1.5



- 3 設問2で「再利用している」人の使い道は何ですか？（複数回答 N=605）  
 = 「ごみ袋として再利用」が5割以上 =  
 設問2で「利用していない」人はどの分別で捨てていますか？（N=7）

「ごみ袋」が342人、次いで「物の保管」が131人でした。利用しない人はごみとして「燃やせないごみ」（4人）「資源ごみ」（2人）で廃棄していました。  
 札幌市ではごみの有料化が検討されており、有料化になった場合「ごみ袋」で利用している人の数字が気になります。

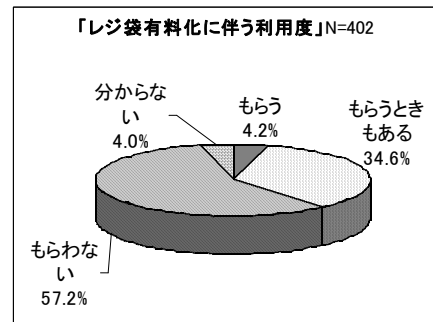


- 4 設問1でレジ袋を「殆どもらわない」人は何を利用してありますか？（N=284）  
 = 81.0%は「マイバック」を使用 =  
 「マイバック」を利用している人が230人（81.0%）で、他は「レンタルかご」（4.2%）、「段ボール箱」（7.0%）でした。

- 5 レジ袋有料のスーパーがあるのを知っていますか？（N=402）  
 = 「知っている」が9割以上 =  
 「知っている」が90.5%でしたが、スーパーによりレジ袋への対応が違うため利用する店舗が無料の場合、「知らない」（9.0%）人もいるという結果でした。

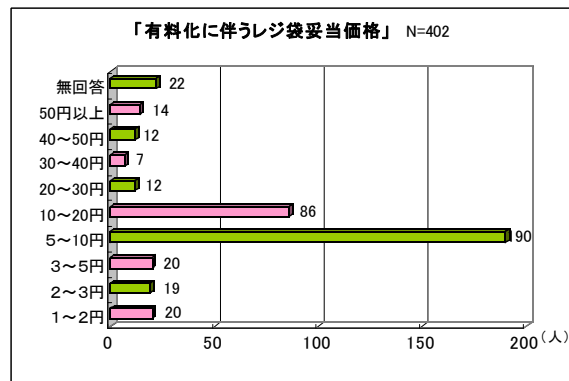
- 6 今後レジ袋が有料になったらどうしますか？（N=402）  
 = 57.2%は「もらわない」 =

選択肢が前回調査と多少違うため正確な比較にはなりません、「もらう」（4.2%）人は前回の6.0%から僅かに減少しました。  
 「もらわない」は57.2%で、設問1で「殆どもらわない」が30.6%であったことから、レジ袋の有料化はレジ袋の削減につながり可能性が高いという結果でした。



- 7 レジ袋が有料になった際の妥当価格は？（N=402）  
 = 妥当価格は「5～10円」が4割強 =

妥当価格は「5～10円」が190人（47.3%）次いで「10～20円」が86人（21.4%）と5円～20円を妥当価格とした人が68.7%でした。妥当価格を「1～2円」とした人が20人いた反面、「50円以上」とした人も14人いました。  
 前回調査では、「5円」を妥当価格とした割合が約4割でした。



#### ◆ ま と め

前回調査と比較して、レジ袋をもらわない人は増えていますが、まだマイバック持参が定着しているとはいえません。  
 マイバック持参は、多くの人が簡単に取り組める行動です。一人ひとりの行動の積み重ねが地球環境保全につながります。